

生涯学習

学び・ふれあい・心豊かに

生涯学習課 ☎43-3383
田沢湖公民館 ☎43-1061
角館公民館 ☎54-1110
西木公民館 ☎47-3100

さんさ踊り教室

一緒に伝統芸能を

盛岡市近郊で盛んに行われている「さんさ踊り」は、太鼓・笛・踊りが一体となつて踊る、優雅で華麗、そして踊り手も見る方も楽しむことができる伝統芸能です。初めての方でも大丈夫です。ぜひご参加ください。

田沢湖駅前広場のイベントで演舞を披露。

公民館講座 受講者募集

仙北市民を対象とした次の公民館講座の受講者を募集します。受講を希望される方は申込期間の平日9時から17時まで最寄りの公民館の窓口か電話でお申し込みください。

- 日時／10月30日、11月13日、11月27日、12月11日(隔週火曜日、全4回)18時30分～20時30分
- 場所／田沢湖総合開発センター
- 講師／田口愛氏(田沢湖さんさ湖校会会長)
- 受講料／無料
- 持ち物／動きやすい服装、運動靴、タオル
- 申込期間／10月17日(水)～26日(金)
- 問合せ／田沢湖公民館

英会話教室

始めてみませんか？英会話

受講者同士が対話を交わしながら楽しく学ぶ実践的な初級の教室です。外国の方と接するお仕事をしている方にも最適です。ぜひご参加ください。

- 日時／11月7日、14日、21日、28日、12月5日(毎週水曜日)18時～19時
- 場所／田沢湖総合開発センター
- 講師／佐藤智恵子氏
- 受講料／無料
- 持ち物／筆記用具
- 対象者／仙北市民(小学生以上)
- 定員／10人(定員になり次第締切)
- 申込期間／10月17日(水)～11月2日(金)
- 問合せ／田沢湖公民館



英会話教室の様子。

生涯学習活動紹介

石鹸が大変身!

親子体験 ソープカービング教室

7月21日、角館公民館で夏休みを利用した「親子体験ソープカービング教室」に、7組の親子が「かご作り」に挑戦しました。カッターや彫刻刀でソープカービング用の石鹸を上手に削り、仕上がった作品にデコレーションを施して完成させました。参加者からは「ソープカービングという名前からして難しいイメージだったけれど、とても

楽しくて、子どもより楽しんでしまった」「また参加したい」など大変好評でした。なお、冬休みの親子体験ソープカービング教室を、12月22日に予定しています。12月1日号で参加者を募集する予定ですので、お見逃しなく！



完成した作品。

上手に描けたかな?

似顔絵教室

昨年好評を得た「似顔絵教室」を9月から開催しています。絵に自信のない方でも、相手の特徴をつかむコツを覚えると「あー似ている」と、お互いに声があがり、照れながらも和気あいあいの雰囲気で行っています。

先生から、どんな人にも特徴があり、その特徴は顔だけでなく、性格や雰囲気からもつかめるのだそうです。今までと違った見方を覚えると、生活の中に1つ楽しみが増えるかもしれませんね。



下絵に絵の具を塗っています。

平成30年度 開催のお知らせ 仙北市文化祭

仙北市(田沢湖・西木地区)文化祭が次の日程により開催されます。各会場では多数の作品展示や催しを行いますのでご家族、ご近所お誘い合わせのうえ、皆さんのご来場を心からお待ちしています。

- 田沢湖地区
 - ▶日時／10月27日(土) 9時～17時
 - ▶28日(日)9時～15時30分
 - ▶場所／生保内市民体育館
 - ▶問合せ／田沢湖公民館
- 西木地区
 - ▶日時／11月4日(日) 9時～15時
 - ▶場所／西木温泉ふれあいプラザクリオン2階ホール・隣接の体育館
 - ▶問合せ／西木公民館

またうら

心豊かな教育文化のまち 《仙北市教育委員会だより》 第84号

生保内小 落書きバス制作

9月26日、生保内小学校で落書きバス制作、バス乗り方教室が行われました。

日本で最初にバスが走った9月20日をバスの日と制定しています。この事業は、そのバスの日のイベントの一環として、秋田県バス協会が主催し、毎年行われています。

今回は羽後交通の路線バスに、6年生全員で絵を描きました。下書き担当がだまかに、田沢湖サイドと駒ヶ岳サイドにレイアウトした後、中心となる絵を仕上げ、空いているところに更に絵を描き加えました。実際に自分でポーズを取って確認してから描いたり、互いの絵を見合せてアドバイしたりして、時間いっぱい楽しみながら完成させました。羽後交通の方から「テーマを決めて、下書きから塗りまでやっているの、素晴らしいので、素晴らしいので、ぜひお褒めの言葉がありました。」



みんなで協力しながら落書きを仕上げました。

感想発表では、酒出華さんが「下書きは大変でしたが、色塗りから

ひのきっこマラソン大会&なべっこ

9月21日、松木内小学校では、校内マラソン大会が行われました。

開会式で4年生の座間心暖さんが「元気に全力を出して走り切りましょう」とあいさつした後、学年毎にグラウンドと校舎の周りを回るコースを走りました。子どもたちは心暖さんの言葉どおり、全員が懸命に走り切り、自分のベストタイムを更新する人が多くいました。「疲れた」、「がんばった」と様々な声がありました。



一斉にスタートする高学年の子どもたち。

したが、終えてからの表情はとても晴れやかでした。その後、縦割り班に分かれて、なべっこを行いました。調理担当は、材料の皮をむいたり、切ったりと下準備をするところからスタートでしたが、上級生が指示をしながら、協力して手際よく進めていました。火起こし担当も手慣れており、あつという間に勢いのよい火がついていました。それを見ていた1年生は、「上級生の人は火のつけ方が

とても上手だった。今は物を運ぶだけだけど、自分が火をつけるときには、しっかりとやりたい」と話してくれました。

白岩小 世代を超えたスポーツ交流

9月27日、白岩小学校では、世代を超えたスポーツ交流が行われました。

この交流は、仙北市老人クラブ連合会が主催し、市内全小学校で年に1回ずつ行われています。今年度は、この白岩小学校での開催が最後になり、スポーツ推進委員や市の職員の協力のもと、体育館でスマイル・ボウリングを行いました。ゲートを通してピンを倒すスマイル・ボウリングは、子どもたちにとって初めての競技で

したが、あつという間にコッすつかみ、5・6年生と老人クラブ混合のチーム対抗戦は、白熱したゲーム展開になり、大いに盛り上がりしました。

感想発表で、草薮徹平君(5年生)が「はじっここのピンを倒せてよかった。自分が倒せないピンをおばあさんが倒してすごいと思った」、高村鳳翔君(6年生)が「たくさん倒すことができてよかったけど、離れたピンがむずかしかった」と話しました。最後に草薮心那さん(6



世代間交流はとても盛り上がりしました。